

(様式第 9)

宮大医医第 101 号
平成 23 年 10 月 5 日

九州厚生局長 殿

宮崎大学医学部附属病院長
池ノ上 勇

宮崎大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	41人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	193人	175人	329.1人	看護補助者	11人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	7人	11.0人	理学療法士	7人	臨床検査技師	38人
薬剤師	24人	0人	24.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0.人	視能訓練士	8人	その他	0人
助産師	25人	1人	25.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	481人	82人	546.8人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	0人	0.人	栄養士	0人	その他の技術員	41人
歯科衛生士	1人	3人	3.5人	歯科技工士	1人	事務職員	51人
管理栄養士	5人	2人	7.0人	診療放射線技師	27人	その他の職員	8人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	531.9人	13.3人	545.2人
1日当たり平均外来患者数	825.5人	46.9人	872.4人
1日当たり平均調剤数	622剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	9人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術	4人
先天性難聴の遺伝子診断	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
化学療法に伴うカフェイン併用療法 悪性骨腫瘍又は悪性軟部腫瘍	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	取扱患者数	1 人
<p>当該医療技術の概要 (第2内科)</p> <p>インターフェロン・リバビリン併用療法の適応のある患者の血液を採取し、リンパ球を分離後DNAを抽出する。リアルタイムPCR (Polymerase Chain Reaction)法により遺伝子多型を同定し、治療に対し感受性ないしは抵抗性の遺伝子を有無を確認することで治療効果予測を行い、インターフェロン・リバビリン併用療法の実施の適否を検討する。</p>			
医療技術名	慢性閉塞性肺疾患の運動耐容能改善効果の評価	取扱患者数	6 人
<p>当該医療技術の概要 (第3内科)</p> <p>慢性呼吸不全を来した患者を対象にペプチドホルモングレリンを3週間にわたって点滴静注し(1日2回投与)、運動耐容能の改善、食欲、体重増加を評価する。</p>			
医療技術名	慢性下気道感染症に対するグレリン投与	取扱患者数	0 人
<p>当該医療技術の概要 (第3内科)</p> <p>慢性下気道感染症のため体重減少を来し、喀痰の多い患者を対象にペプチドホルモングレリンを2週間にわたってし、(1日2回投与)プラセボ投与群と比較して、喀痰量の減少、体重の増加を評価する。</p>			
医療技術名	神経変性疾患の遺伝子診断	取扱患者数	3 人
<p>当該医療技術の概要 (第3内科)</p> <p>PCR法、DNAシーケンサー装置等を用いて責任遺伝子の異常を探索し正確な診断を行う。</p>			
医療技術名	難治性気分障害に対する経頭蓋磁気刺激療法	取扱患者数	1 人
<p>当該医療技術の概要 (精神科)</p> <p>精神療法・薬物療法等の治療に抵抗性のうつ病をはじめとする気分障害に対し、患者の同意を得たうえで経頭蓋療法を行っている。</p>			
医療技術名	膵石症に対する体外衝撃波結石破碎療法(ESWL)	取扱患者数	11 人
<p>当該医療技術の概要 (第1外科)</p> <p>膵石に対する体外衝撃波結石破碎療法は、体外衝撃波結石破碎装置を用いて体外からの衝撃波で膵管内膵石粉碎化の後に消失させる悲観血的な治療法である。衝撃波は、硬いが脆い膵石を効率よく結晶細片に粉碎することである。本治療法は、低侵襲で安全性が高く、結石破碎効果および症状緩和効果が高く、膵石症に対する有効な一つである。</p>			

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肝切除手術における画像支援ナビゲーション	取扱患者数	4 人
<p>当該医療技術の概要 (第1外科)</p> <p>画像支援ナビゲーションはコンピュータ断層撮影の画像情報から、“Region Growing software”というコンピュータソフトウェアを用い、動脈、門脈、静脈の3種の血管を描出し3次元画像化する。その3次元画像から各血管の支配領域の該当肝容量を計算し、正確な切除肝容量と予定残存肝容量を推定する。これらの情報を元に、最も安全な術式を選択する。</p>			
医療技術名	鏡視下肩峰下腔除圧術	取扱患者数	0 人
<p>当該医療技術の概要 (整形外科)</p> <p>局所麻酔下に内視鏡で観察しながら烏口肩峰靭帯の切離と水腫や腫脹をきたした肩峰下滑液包を切除する。本手術は、外来手術で行うことができる。特に大きな侵襲を与えることができない透析患者、高齢者の肩関節痛に対する除痛が最大の目的。</p>			
医療技術名	超音波骨折治療法	取扱患者数	0 人
<p>当該医療技術の概要 (整形外科)</p> <p>超音波骨折療法は、微弱な超音波を1日1回20分間、骨折部に与えることで骨折治癒を促進する治療法であり、新鮮骨折の骨癒合期間を短縮することが複数の臨床試験で報告されている。本治療法は非侵襲的であり、非常に微弱な超音波なので副作用も少なく、従来の骨折治療に追加するだけのものであり、有用な治療法である。</p>			
医療技術名	体外衝撃波疼痛治療 (ESWT)	取扱患者数	0 人
<p>当該医療技術の概要 (整形外科)</p> <p>体外で発生させた衝撃波を患部に照射し、除痛を行う。</p>			
医療技術名	ケミカルピーリング	取扱患者数	10 人
<p>当該医療技術の概要 (皮膚科)</p> <p>尋常性痤瘡等の疾患に対し行う。</p>			
医療技術名	円形脱毛症へのDPCP療法	取扱患者数	20 人
<p>当該医療技術の概要 (皮膚科)</p> <p>難治性の円形脱毛症に対し、DPCPを用いた免疫賦活療法を行っている。</p>			

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	皮膚悪性リンパ腫へのACNU外用療法	取扱患者数	5 人
当該医療技術の概要 (皮膚科) 皮膚悪性リンパ腫の皮膚病変に対し、抗癌剤であるACNUの外用療法を行っている。			
医療技術名	酒查皮に対する色素レーザー療法	取扱患者数	3 人
当該医療技術の概要 (皮膚科) 酒查皮に対し、レーザー療法を行う。			
医療技術名	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	取扱患者数	1 人
当該医療技術の概要 (泌尿器科) 精巣腫瘍、膀胱腫瘍等の摘出後、追加の化学療法・放射線療法の必要性を判断するために、腹腔鏡を用いて後腹膜リンパ節を切除しリンパ節転移の有無を確認する。切除したリンパ節に腫瘍の転移がなければ、追加の化学療法・放射線療法を行わず、その副作用を避けることができる。			
医療技術名	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	取扱患者数	0 人
当該医療技術の概要 (泌尿器科) 全身麻酔下で、下腹部に5箇所(約12mm)の操作孔を設け、腹腔鏡下に手術を行う。具体的には、開腹術の場合と同様、男性では膀胱・前立腺・精嚢腺を、女性では膀胱と子宮を一塊に摘出し、リンパ節郭清術を行った上で、尿路変更を行う。			
医療技術名	網膜変性患者の遺伝子解析	取扱患者数	6 人
当該医療技術の概要 (眼科) 網膜変性患者の疾患遺伝子を検索し、原因を解明する。			
医療技術名	残存聴力活用型人工内耳挿入術	取扱患者数	1 人
当該医療技術の概要 (耳鼻咽喉科) 補聴器での聞き取りは困難であるが高音急降あるいは漸傾型の聴力像を示す難聴患者に対して、「併用型人工内耳」挿入術を、全身麻酔下で耳後部を切開し側頭骨を削開、蝸牛を開窓し電極アレイを挿入、固定する手法にて行う。手術手法自体は、電極挿入の手法が異なる以外は既に保険診療下で実施されている通常の人工内耳挿入術とほぼ同様であるが、通常の人工内耳挿入術と比較し、蝸牛の回転軸に沿った方向から電極を挿入するround windowアプローチを用いることで、低音部の残存聴力を維持・活用することが可能となる。			

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	埋め込み型骨導補聴器(BAHA)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 (耳鼻咽喉科) 混合難聴者及び片側聾患者に対し、BAHAによる聴力補償を行った。			
医療技術名	中耳真珠腫に対する前鼓室開放術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 (耳鼻咽喉科) 中耳真珠腫の術後再発予防策としての追加術式。			
医療技術名	胎児尿路・羊水腔シャント術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 (産科婦人科) 拡張尿路-羊水腔間を、カテーテルを留置して貫通させる胎児手術を行う。			
医療技術名	胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 (産科婦人科) 胸腔-羊水腔間を、カテーテルを留置して貫通させる胎児手術を行う。これにより持続的に胸水を除去して、胎児水腫を改善し、肺低形成、羊水過多の進行を防ぐことができる。この方法では母体への負担が小さく、感染の危険も小さい。			
医療技術名	経胎盤的抗不整脈薬投与療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 (産科婦人科) 本治療は入院、24時間の安全管理のもとで行われる。 まず、胎児心エコーにて、上室性頻脈、心房粗動等の頻脈性不整脈の分類を行う。各胎児診断と胎児水腫の有無により、抗不整脈薬であるジゴキシン、ソタロール、フレカイニド又はその組み合わせの中から使用薬剤及び投与量を選択する。胎児心拍モニタリング下で、母体に対し経口又は経静脈的に抗不整脈薬を投与し、胎盤を介した胎児への効果を期待する。			
医療技術名	妊娠22～23週の超未熟児に対する集学的集中治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 (産科婦人科) 妊娠22～23週で出生した未熟児は生存限界であり、呼吸循環管理に加え、消化管、皮膚、感染症対策など集学的な管理と緻密なケアとを必要とし、妊娠24週以降とは別レベルの高度医療が必要である。			

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	癒着胎盤の術前診断と周術期管理	取扱患者数	3 人
<p>当該医療技術の概要 (産科婦人科)</p> <p>妊娠中期から超音波画像、MRI画像を用いた画像診断と危機的出血を回避するための集学的(輸血部、放射線部、手術部、泌尿器科、麻酔科等)管理。</p>			
医療技術名	経皮的肺がんラジオ波焼灼療法	取扱患者数	0 人
<p>当該医療技術の概要 (放射線科)</p> <p>原発性・転移性の肺悪性腫瘍に対し、CTガイド下に経皮的に電極を刺入して誘電加熱により腫瘍を焼灼する。外科的治療と比較して患者への負担が少ないため、全身状態が悪く外科的治療の困難な症例でも施行可能であり、入院日数も短縮される。また、多発の悪性病変で外科的治療にて根治性が期待できない症例でも有効。さらに、マイクロ波凝固療法と比較して1回の穿刺での焼灼範囲が広く、刺し直しの回数が少なくて済むという利点もある。</p>			
医療技術名	口腔癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	33 人
<p>当該医療技術の概要 (歯科口腔外科・矯正歯科)</p> <p>口腔癌症例において、頸部リンパ節への転移の有無を、センチネルリンパ節理念により術中に同リンパ節を固定し摘出し、迅速に病理組織学的に転移しているか否かを診断し、その結果により頸部郭清術を施行するか否かを決定する。</p>			
医療技術名	在胎22週～24週で出生した児に対する全身管理	取扱患者数	10 人
<p>当該医療技術の概要 (総合周産期母子医療センター)</p> <p>生育の限界にあるこの週数で出生した児に対する集学的治療。</p>			
医療技術名	Ex utero intarapartum treatment	取扱患者数	1 人
<p>当該医療技術の概要 (総合周産期母子医療センター)</p> <p>胎盤循環を保ったまま胎児の外科的処置を行う集学的治療。</p>			
医療技術名	腹膜透析	取扱患者数	1 人
<p>当該医療技術の概要 (総合周産期母子医療センター)</p> <p>新生児の腎不全に対して行う透析療法。</p>			

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	遺伝性疾患患者に対する遺伝カウンセリング	取扱患者数	20 人
当該医療技術の概要 (遺伝カウンセリング部)			
遺伝性疾患患者ならびにその家族に対し、疾患の遺伝性、再発率、サポートグループの情報提供を行うとともに、心理的ケアを行う。			

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	51人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	28人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	59人	・原発性胆汁性肝硬変	23人
・全身性エリテマトーデス	174人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	60人
・再生不良性貧血	15人	・混合性結合組織病	33人
・サルコイドーシス	34人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	20人	・特発性間質性肺炎	27人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	107人	・網膜色素変性症	21人
・特発性血小板減少性紫斑病	22人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	26人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	154人	・神経線維腫症	15人
・大動脈炎症候群	11人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	19人	・慢性血栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	17人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	128人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	2人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	72人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	12人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・後縦靭帯骨化症	50人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	31人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	9人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	19人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	109人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・眼底三次元画像解析	・
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索(触診及び画像診断の結果、悪性黒色腫の遠隔転移が認められないものであって、臨床的に所属リンパ節の腫大が確認されていないものに限る。)	・
・経皮的骨形成術 有痛性悪性骨腫瘍	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	子宮内胎児死亡を除くすべての剖検症例においてCPCを開催
部 検 の 状 況	部検症例数 42例 /部検率 14.9%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性血管疾患に対する修復・再生医療に関するトランスレーショナル研究	北村 和雄	第一内科	1,500,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
KRAS変異型の切除不能進行・再発大腸癌に対する3次治療としてのTS-1 + bevacizumab併用療法第Ⅱ相試験	押川 勝太郎	第一内科	一症例あたり 157,500円	補 委 財団法人先端医療新興財団
ヒト褐色細胞組織に存在する新規生理活性ペプチドの系統的探索	北村 和雄	第一内科	800,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
腹部大動脈瘤におけるアドレノメデュリン・マスト細胞の意義と新たな治療法の開発	北村 和雄	第一内科	6,110,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
ヒトの尿に内在する新たな循環器・腎臓疾患のバイオマーカーの開発	永田 さやか	第一内科	1,560,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
腹部大動脈瘤の形成におけるマスト細胞の関与	鶴田 敏博	第一内科	1,300,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
スーパー特区における臨床試験の基盤形成と完遂を促進する教育プログラムの開発研究-アカデミアにおけるスポンサー機能の充実を目指して-	北村 和雄	第一内科	1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
アドレノメデュリン(AM)の炎症性腸疾患治療薬としての臨床応用	北村 和雄	第一内科	34,515,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
フィブロネクチン由来反接着性ペプチドFNIII14と抗癌剤を併用した急性骨髄性白血病の根絶治療法	松永 卓也	第二内科	500,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
真性多血症、本態性血小板増多症発症メカニズムの解明	下田 和哉	第二内科	1,300,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
AMLの低酸素環境下抗癌剤耐性の機序解明と低酸素選択的薬剤による根治療法の開発	松永 卓也	第二内科	1,820,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
慢性骨髄増殖性疾患の分子機構及び白血病急性転化機序の解明	幣 光太郎	第二内科	900,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
劇症1型糖尿病のウイルス原因説に関する研究	下田 和哉	第二内科	2,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
ゼノグラフトモデルマウスを用いたHTLV-1感染バイオアッセイ系の確立と臨床応用	岡山 昭彦	膠原病感染症内科	2,210,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
間質性肺炎におけるマイクロパーティクルの役割と情報伝達物質としての意義	長友 安弘	膠原病感染症内科	1,950,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
HTLV-1感染関連分子とATL発症危険群の同定	野村 創	膠原病感染症内科	390,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
インスリン分泌を制御する新たなエネルギー代謝調節ペプチド探索における日韓共同研究	中里 雅光	第三内科	4,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
グレリンの代謝疾患への臨床研究	中里 雅光	第三内科	1,500,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
新規マイクロRNAの探索と肺線維症に対する臨床研究	柳 重久	第三内科	1,300,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
肥満におけるエネルギー代謝調節ペプチドの病態生理学的意義の解明	中里 雅光	第三内科	24,310,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
新規視床下部ペプチドの網羅的探索と機能解析	中里 雅光	第三内科	7,800,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
難治性呼吸器疾患に対するグレリン治療の開発研究	中里 雅光	第三内科	1,700,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
グレリンのエネルギー同化作用による骨格筋代謝機能改善の可能性に関する研究	十枝内 厚次	第三内科	1,040,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
新規視床下部ペプチドの発見と機能解析	山口 秀樹	第三内科	1,300,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
慢性閉塞性肺疾患患者における診療過程の質とアウトカムとの関連についての研究	有村 保次	第三内科	1,430,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
肺線維症・上皮間葉転換を制御するマイクロRNAの探索とその作用機序の解明	柳 重久	第三内科	2,340,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
糖尿病性神経障害におけるグレリンの病態生理学的意義の検討と臨床応用	椎屋 智美	第三内科	1,300,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
グレリンの肺癌化学療法における副作用抑制効果の検証	松元 信弘	第三内科	2,470,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
アミロイドーシスに関する調査研究	中里 雅光	第三内科	1,500,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
慢性呼吸不全に対するグレリンの臨床応用研究	中里 雅光	第三内科	25,610,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
スーパー特区における臨床試験の基盤形成と完遂を促進する教育プログラムの開発研究ーアカデミアにおけるスポンサー機能の充実を目指してー	中里 雅光	第三内科	1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究	中里 雅光	第三内科	47,861,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究	松元 信弘	第三内科	1,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
神経移植とL-DOPA療法がもたらす神経可塑性に関する行動神経薬理学的研究	石田 康	精神科	1,560,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
脳内神経変性疾患に対する再生医療・遺伝子治療効果判定に有用な放射性診断薬の開発	石田 康	精神科	650,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
てんかんの海馬興奮系増強効果を支えるレドックス制御分子群の網羅的発現・機能解析	植田 勇人	精神科	1,430,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
シスチン・グルタミン酸交互輸送体機能障害による海馬酸化ストレス増強機序の解明	土井 拓	精神科	1,170,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
抗βアミロイドオリゴマー抗体による神経細胞保護機構の検討	林 要人	精神科	1,430,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
視覚的物体弁別課題遂行中の嗅周皮質ニューロンにおける神経栄養因子3の関与	安部 博史	精神科	2,730,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
宮崎県の口蹄疫対策における被災者支援とその実績に基づいた精神保健対策マニュアル作成に関する研究	石田 康	精神科	3,359,892	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
急性脳炎・脳症の病態解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	布井 博幸	小児科	520,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
胎盤の細胞融合におけるMfsd2遺伝子の機能解析	盛武 浩	小児科	910,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
ラットβCGRPを用いた脳内カルシトニン受容体の生理作用に関する検討	澤田 浩武	小児科	130,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
インターロイキン17Eの糸球体上皮細胞シグナル伝達障害による蛋白尿発症機序の解明	此元 隆雄	小児科	1,430,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
炎症性腸疾患発症におけるNEMO変異とその復帰変異に伴う体細胞モザイクの意義	水上 智之	小児科	1,690,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	布井 博幸	小児科	1,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
先天性好中球減少症の効果的診断方法の確立と治療ガイドライン作成に関する研究	布井 博幸	小児科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
外胚葉形成不全免疫不全症の実態調査と治療ガイドラインの作成	布井 博幸	小児科	1,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

小計16

(注)

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高病原性鳥インフルエンザの診断・治療に関する国際連携研究	布井 博幸	小児科	3,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
都農町における生活習慣病の研究	千々岩 一男	第一外科	3,000,000	補 委 都農町
宮崎市清武町域における腹部超音波検診による生活習慣病の研究	千々岩 一男	第一外科	3,675,000	補 委 宮崎市
肝予備能把握法の確立と肝切除後残存肝機能の分子生物学的解析	千々岩 一男	第一外科	1,040,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
完全静脈栄養下における腸管免疫異常に対するグレリンの効果	佛坂 正幸	第一外科	1,040,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	千々岩 一男	第一外科	500,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
治癒切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフック化ヒリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	河野 文彰	第二外科	73,500	補 委 財団法人先端医療新興財団
白蓋形成不全症におけるゲノムコピー数異常の解析とその臨床診断への応用	関本 朝久	整形外科	600,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
宮崎市清武町域における皮膚がんの研究	帖佐 宣昭	皮膚科	800,000	補 委 宮崎市
網膜変性疾患の分子生物学的並びに電気生理学的研究	直井 信久	眼科	1,040,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討	外山 勝浩	耳鼻咽喉科	315,000	補 委 財団法人先端医療新興財団
ポジトロン断層法(PET-CT)を用いた高度難聴児への電気聴覚検査法の開発	東野 哲也	耳鼻咽喉科	692,970	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
次世代シーケンサーを用いた難聴遺伝子の網羅的解析	東野 哲也	耳鼻咽喉科	910,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
インスリンは嗅覚において神経保護因子として働くのか:嗅覚障害の病態解明に向けて	佐藤 伸矢	耳鼻咽喉科	1,170,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
正常機能を有する外耳道皮膚の再生:温度応答性培養皿を用いた人工外耳道皮膚の作製	土屋 克之	耳鼻咽喉科	1,430,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
Usher症候群に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	700,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	700,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	東野 哲也	耳鼻咽喉科	600,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
胎児脳機能リズム形成に及ぼす母体環境ストレスの影響について	池ノ上 克	産科婦人科	1,430,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
周産期医療体制の推進に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	5,184,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
チーム医療の推進における看護師等の役割拡大・専門性向上に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	2,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
チーム医療の推進における看護師等の役割拡大・専門性向上に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
経皮的血管形成術後の血栓閉塞に対する局所遺伝子導入の検討	田村 正三	放射線科	1,300,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
静脈血栓塞栓症の分子標的治療	古小路 英二	放射線科	2,080,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
呼吸気CTによる気管支肺胞上皮癌の形態変化を利用した組織型推定の基礎研究	中田 博	放射線科	500,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
麻酔ならびにショック時の血管反応性に関する研究	恒吉 勇男	麻酔科	1,430,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
麻酔薬のオレキシン細胞活動に及ぼす影響ーオレキシン系は麻酔薬の標的かー	白阪 哲朗	麻酔科	780,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
局所麻酔薬による腫瘍細胞致死機序とその腫瘍特異性に関する研究	田村 隆二	麻酔科	4,030,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
リドカインの腫瘍細胞増殖抑制および致死機序の解明	鬼塚 信	麻酔科	910,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
アポトーシスとネクローシスの鑑別による局所麻酔薬の細胞致死機序の解明	細川 信子	麻酔科	260,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
麻酔薬によるGLUT4トランスロケーション変化の解析	山下 幸貴	麻酔科	269,747	補委 科学研究費補助金(文部科学省)

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
頸動脈ステント留置術後の血管イベントの発症に関する前向き観察研究	大田 元	脳神経外科	一症例あたり 31,500円	補 委 財団法人先端医療新興財団
癌幹細胞分化誘導システムを利用した乏突起膠腫の新規分子マーカーの探索	竹島 秀雄	脳神経外科	3,770,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
ソノレーション法を用いた顎骨延長法の確立	吉岡 泉	歯科口腔外科・矯正歯科	1,560,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
中枢および内臓への実験的刺激がブラキシズムの発症に及ぼす影響の病態生理学的探索	永田 順子	歯科口腔外科・矯正歯科	1,950,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
胃食道酸逆流モデルラットにおけるブラキシズム様運動を誘発するメカニズムの解明	永田 順子	歯科口腔外科・矯正歯科	13,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
成人T細胞白血病発症危険因子としてのHTLV-1プロウイルスDNAのメリル化解析	梅木 一美	検査部	560,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
腫瘍分泌性生理活性物質のシナプス伝導への影響	柏田 政利	手術部	260,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	川村 慎二	放射線部	1,000,000	補 委 国立がん研究センター
若年喫煙習慣者の禁煙治療前後における脳血流・代謝変化についての研究	長町 茂樹	放射線部	650,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
テネシン-C由来新規ペプチドを用いた造血幹細胞由来の輸血製剤の開発	久富木 庸子	輸血部	1,820,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
リドカインの腫瘍細胞致死機構の解明	川崎 祐子	集中治療部	910,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
小児心肺補助システムを長期間、安全に使用するための新提案	押川 満雄	集中治療部	1,820,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
アテローム血栓症の病態解明に関する病理学的研究	浅田 祐士郎	病理部	4,550,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
アテローム血栓症の発症におけるペントラキシン3の関与	盛口 清香	病理部	1,170,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
難治性血管炎に関する調査研究	藤元 昭一	血液浄化療法部	970,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
人工ガンマグロブリンの製剤化への安全性と臨床試験にむけた評価系の確立	藤元 昭一	血液浄化療法部	300,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
体内動態の知識を臨床応用できる薬剤師育成のための体験型TDM実習プログラムの開発	永田 将司	薬剤部	449,640	補 科学研究費補助金 (文部科学省) 委

合計97

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Am J Physiol Endocrinol Metab	Neuroendocrine regulatory peptide-2 regulates feeding behavior via the orexin system in the hypothalamus.	Yamaguchi H	第三内科
American Journal of Hematology	C-MYC rearrangement may induce an aggressive phenotype in anaplastic lymphoma kinase positive anaplastic large cell lymphoma: Identification of a novel fusion gene ALO17/C-MYC.	Moritake H	小児科
Anesthesia & Analgesia	Effect of pulsed radiofrequency current on mechanical allodynia induced with resiniferatoxin in rats.	Tanaka N	麻酔科
Anesthesia and analgesia	Capsaicin indirectly suppresses voltage-gated Na ⁺ currents through TRPV1 in rat dorsal root ganglion neurons.	Onizuka S	麻酔科
Anesthesia and analgesia	Local anesthetics depolarize mitochondrial membrane potential by intracellular alkalinization in rat dorsal root ganglion neurons.	Onizuka S	麻酔科
Annals of the New York Academy of Sciences	Translational research of ghrelin.	Ueno H	第三内科
Annals of the New York Academy of Sciences	Neuropeptide W: a key player in the homeostatic regulation of feeding and energy metabolism?	Nakazato M	第三内科
Annals of Nuclear Medicine	Associations between liver 18F fluoro-2-deoxy-D-glucose accumulation and various clinical parameters in a Japanese population : influence of the metabolic syndrome.	Nagamachi S	放射線科
Annals of Nuclear Medicine	Predictive value of Tc-99m galactosyl human serum albumin liver SPECT on the assessment of functional recovery after partial hepatectomy: a comparison with CT volumetry .	Nagamachi S	放射線科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Annals of Nuclear Medicine	The reproducibility of deep-inspiration breath-hold 18F-FDG PET/CT technique in diagnosing various cancers affected by respiratory motion.	Nagamachi S	放射線科
Annals of Oncology	Prognostic significance of S-phase kinase-associated protein 2 and p27kip1 in patients with diffuse large B-cell lymphoma: effects of rituximab.	Shimoda K	第二内科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Postoperative Serum C-Reactive Protein Level in Non-Small Cell Lung Cancer Patients.	Ayabe T	第二外科
Anticancer Research	Prognostic significance of tumour marker index based on preoperative CEA and CYFRA 21-1 in non-small cell lung cancer.	Tomita M	第二外科
Atherosclerosis	Pericardial fat inflammation correlates with coronary artery disease.	Asada Y	病理部
Biochemical and Biophysical Research Communications	Tyrosine kinase 2 interacts with the proapoptotic protein Siva-1 and augments its apoptotic functions.	Shimoda K	第二内科
Biological and Pharmaceutical Bulletin	Relative contributions of 5-hydroxytryptamine (5-HT) receptor subtypes in 5-HT-induced vasoconstriction of the distended human saphenous vein as a coronary artery bypass graft.	Yamashita A	病理部
Blood	Lymphomatoid Gastropathy: A Distinct Clinicopathological Entity of Self-limited NK-cell Proliferation.	Marutsuka K	病理部
Blood	Human T-cellLeukemia virus type 1 (HTLV-1) proviral load and disease progression in asymptomatic HTLV-1 carriers: a nationwide prospective study in Japan.	Okayama A	膠原病感染症内科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Brain	Clinicopathological features of acute autonomic and sensory neuropathy.	Shiomi K	第三内科
British Journal of Haematology	JAK2 V617F uses distinct signalling pathways to induce cell proliferation and neutrophil activation.	Shimoda K	第二内科
Cancer Chemother Pharmacol	Safety, efficacy and pharmacokinetics of S-1 in a hemodialysis patient with advanced gastric cancer.	Arimori K	薬剤部
Cancer Immunology Immunotherapy	Modified vaccinia Ankara (MVA) expressing survivin combined with gemcitabine generates specific antitumor effects in a murine pancreatic carcinoma model.	Ishizaki H	第一外科
Cancer Research	Cancer inhibition through circadian reprogramming of tumor transcriptome with meal timing.	Fujii Y	第一外科
Cancer Science	Intra- and inter-laboratory variability in human T-cell leukemia virus type-1 proviral load quantification using real-time polymerase chain reaction assays: A multi-center study.	Okayama A	膠原病感染症内科
Circulation Journal	Repeated sirolimus-eluting stent implantation to treat sirolimus-eluting stent and bare-metal stent restenosis.	Asada Y	病理部
Cytopathology	EMMPRIN (CD147) expression and differentiation of papillary thyroid carcinoma: implications for immunocytochemistry in FNA cytology.	Marutsuka K	病理部
Diabetes Care	Low-dose aspirin therapy in patients with type 2 diabetes and reduced glomerular filtration rate: subanalysis from the JPAD trial.	Marutsuka K	病理部

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Diabetes Res Clin Pract	Candesartan attenuates fatty acid-induced oxidative stress and NAD(P)H oxidase activity in pancreatic β -cells.	Nakazato M	第三内科
Early Human Development	Developmental changes in catecholamine requirement, volume load and corticosteroid supplementation in premature infants born at 22 to 28 weeks of gestation.	Sameshima H	産科婦人科
Endocrine Journal	Significant lowering of plasma ghrelin but not des-acyl ghrelin in response to acute exercise in men.	Shiiba T	第三内科
Endocrinology	Neuropeptide W: an anorectic peptide regulated by leptin and metabolic state.	Nakazato M	第三内科
European archives of otorhinolaryngology	Ossiculoplasty with a cartilage-connecting hydroxy apatite prosthesis for tympanosclerotic stapes fixation.	Matsuda K	耳鼻咽喉科
European Journal of Immunology	Functional involvement of Daxx in gp130-mediated cell growth and survival in BaF3 cell.	Shimoda K	第二内科
European Journal of Pharmacology	Nav1.7-Ca ²⁺ influx-induced increased phosphorylations of extracellular signal-regulated kinase (ERK) and p38 attenuate tau phosphorylation via glycogen synthase kinase-3 β : priming of Nav1.7 gating by ERK and p38.	Maruta T	集中治療部
Fertility and Sterility	Successful fresh whole ovarian autotransplantation without vascular anastomosis.	Sameshima H	産科婦人科
Fetal & Pediatric Pathology	Hemangioma of the umbilical cord with pseudocyst.	Sameshima H	産科婦人科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Outcome after Valve surgery in octogenarians and efficacy of early mobilization with early cardiac rehabilitation.	Nakamura K	第二外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Prognostic significance of the combined use of preoperative platelet count and serum carcinoembryonic antigen level in non-small-cell lung cancer.	Onitsuka T	第二外科
Gerodontology	A Study of the Efficacy of Ultrasonic Waves in Removing Biofilms.	Izumi Y	歯科口腔外科・ 矯正歯科
Hospital Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery	Basaloid squamous cell carcinoma in the tongue:Distinct variant of squamous cell carcinoma.	Kashima K	歯科口腔外科・ 矯正歯科
Hypertension Research	Aldosterone antisecretagogue and antihypertensive actions of adrenomedullin in patients with primary aldosteronism.	Kita T	第一内科
Hypertension Research	Hemodynamic and hormonal effects of exogenous adrenomedullin administration in humans and relationship to insulin resistance.	Kita T	第一内科
Immunopharmacology and Immunotoxicology	Combination of adoptive cell transfer and antibody injection can eradicate established tumors in mice—an in vivo study using anti-OX40mAb, anti-CD25mAb and anti-CTLA4mAb-.	Onitsuka T	第二外科
International Journal of STD & AIDS	Population-based study of asymptomatic infection with Chlamydia trachomatis among female and male students.	Tsukino H	泌尿器科
International Journal of Urology	Skeletal-related events in urological cancer patients with bone metastasis: a multicenter study in Japan.	Tsukino H	泌尿器科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
International Journal of Cancer	Dickkopf-1 is Overexpressed in Human Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Cells and is Involved in Invasive Growth.	Chijiwa K	第一外科
International Journal of Cancer	Defective human T-lymphotropic virus type 1 provirus in asymptomatic carriers.	Umekita K	膠原病感染症内科
International Journal of Dentistry	Advanced clinical usefulness of ultrasonography for diseases in oral and maxillofacial regions.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
International Journal of Dermatology	A prospective open-label clinical trial of adalimumab for the treatment of hidradenitis suppurativa.	Masahiro Amano	皮膚科
International Journal of Gynecological Cancer	Parametrial Involvement in FIGO Stage 1B1 Cervical Carcinoma.	Kamimori T	産科婦人科
International Journal of Hematology	Absence of gain-of-function JAK1 and JAK3 mutations in adult T cell leukemia/lymphoma.	Shimoda K	第二内科
International Journal of Hematology	Successful treatment of cryoglobulinemic glomerulonephritis derived from Waldenstrom's macroglobulinemia by rituximab-CHOP and tandem high-dose chemotherapy with autologous peripheral blood stem cell transplantation.	Shimoda K	第二内科
International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology	Mucin gene expression and mouse middle ear epithelium.	Tsuchiya K	耳鼻咽喉科
Intervirolgy	Multiple integrations of human T-lymphotropic virus type 1 proviruses in the engrafted cells from the asymptomatic carriers in NOD/SCID/gammac mice.	Hatakeyama K	病理部

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
The Journal of Biological Chemistry	Regulation of ghrelin signaling by a leptin-induced gene, negative regulatory element-binding protein, in the hypothalamic neurons.	Nakazato M	第三内科
Journal of Bone and Mineral Metabolism	A novel nonsense mutation in DMP1 gene in a Japanese family with autosomal recessive hypophosphatemic rickets.	Nakazato M	第三内科
Journal of Neurochemistry	Distribution of neuroendocrine regulatory peptide-1 and -2, and proteolytic processing of their precursor VGF protein in the rat.	Nakazato M	第三内科
Journal of Applied Therapeutic Research	Inhibition of cisplatin protein binding: a possible therapeutic advantage.	Arimori K	薬剤部
Journal of Pharmacy and Pharmacology	Effect of acute hepatic failure on the hepatic first-pass effect of 5-fluorouracil in rats.	Arimori K	薬剤部
Journal of anesthesia	Comparisons of two different doses of fentanyl for procedural analgesia during epidural catheter placement: a double-blind prospective, randomized, placebo-controlled study.	Yano T	麻酔科
Journal of Anesthesia	Effects of Orexin-A on propofol anesthesia in rats.	Shirasaka T	麻酔科
Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia	Effects of a novel benzodiazepine derivative, JM-1232(-), on human gastroepiploic artery in vitro.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology	Characteristics of CD5-positive splenic marginal zone lymphoma with leukemic manifestation; clinical, flow cytometry, and histopathological findings of 11 cases.	Marutsuka K	病理部

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Computer Assisted Tomography	Clinical Significance of Magnetization Transfer Contrast Imaging for Edematous Changes in Masticatory Muscle.	Nagata J	歯科口腔外科・矯正歯科
Journal of Gerontology Series A Biological Sciences Medical Sciences	Plasma Pentraxin 3, but not High-sensitivity C-reactive Protein, is a Useful Inflammatory Biomarker for Predicting Cognitive Impairment in Elderly Hypertensive Patients.	Asada Y	病理部
Journal of Gynecologic Surgery	A Randomized Trial of Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Radical Surgery Versus Radiotherapy Alone in Stage IIIb Carcinoma of the Uterine Cervix.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine	Clinical factors that enhance morbidity and mortality in intrauterine growth restricted fetuses delivered between 23 and 30 weeks of gestation.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of Medical Systems	Design and Development of EMR Supporting Medical Process Management.	Araki K	医療情報部
Journal of Molecular Neuroscience	Gene Network Analysis to Determine the Effects of Antioxidant Treatment in a Rat Model of Neonatal Hypoxic-Ischemic Encephalopathy.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of Obstetrical Gynaecology Research	Rubella outbreak on Tokunoshima Island in 2004: a population-based study of pregnant women.	Kaneko M	産科婦人科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery.	Relationship Between Inferior Alveolar Nerve Canal Position at Mandibular Second Molar in Patients With Prognathism and Possible Occurrence of Neurosensory Disturbance After Sagittal Split Ramus Osteotomy.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery.	Significance of dynamic MR sialography as prognostic evaluation for saline solution irrigation of parotid gland as treatment of xerostomia.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Orthopaedic science	Effect of periacetabular osteotomy for acetabular dysplasia clarified by three-dimensional finite element analysis.	Chosa E	整形外科
Journal of Pediatric Surgery	Application of a fetal scalp electrode for continuous fetal heart rate monitoring during an ex utero intrapartum treatment.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of Surgical Research	Up-regulation of Intestinal Toll-Like Receptors and Cytokines Expressions Change after TPN Administration and a Lack of Enteral Feeding.	Chijiwa K	第一外科
Journal of Thrombosis and Haemostasis	Disturbed blood flow induces erosive injury to smooth muscle cell-rich neointima and promotes thrombus formation in rabbit femoral arteries.	Yamashita A	病理部
Journal of Thrombosis and Haemostasis	Human C-reactive protein enhances thrombus formation after neointimal balloon injury in transgenic rabbits.	Yamashita A	病理部
Journal of Virology	Downregulation of CDKN1A in Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma despite Overexpression of CDKN1A in Human T-Lymphotropic Virus 1-Infected Cell Lines.	Okayama A	膠原病感染症内科
Liver International	Prognostic significance of circumferential cell surface immunoreactivity of Glypican-3 in hepatocellular carcinoma.	Kondo K	第一外科
Magnetic Resonance Imaging	MR signal change in venous thrombus relates organizing process and thrombolytic response in rabbit.	Furukoji E	放射線科
Magnetic Resonance in Medical Sciences	Improved visualization of intracranial vessels by gradient moment nulling in hybrid of opposite-contrast magnetic resonance angiography (HOP MRA).	Kodama T	放射線科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Medimond International Proceedings	Pneumococcal Peptidoglycan-Polysaccharides Regulate Toll-like Receptor 2 in the Mouse Middle Ear Epithelial Cells.	Toyama K	耳鼻咽喉科
Metabolism	Glucagon-like peptide?1 and candesartan additively improve glucolipototoxicity in pancreatic β -cells.	Ueno H	第三内科
Modern Rheumatology	Plasma adrenomedullin and proadrenomedullin N-terminal 20 peptide in patients diagnosed as having early rheumatoid arthritis.	Hamada H	整形外科
Neuropeptides	Distribution of neuropeptide W in the rat brain.	Nakazato M	第三内科
Neuropharmacology	Homologous posttranscriptional regulation of insulin-like growth factor-I receptor level via glycogen synthase kinase-3beta and mammalian target of rapamycin in adrenal chromaffin cells: effect on tau phosphorylation.	Satoh S	耳鼻咽喉科
Obesity	Reciprocal contribution of pentraxin 3 and c-reactive protein to obesity and metabolic syndrome.	Asada Y	病理部
Oral Science International	A case of cat cry syndrome associated with cleft lip.	Kashima K	歯科口腔外科・矯正歯科
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology and Endodontology	Clinical significance of ultrasonographic examination including detection of thyroid gland diseases when surveying cervical lymph nodes in subjects with oral squamous cell carcinoma.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Pediatr. Blood Cancer	Randomized trial to compare LSA2L2 type maintenance therapy to daily 6-mercaptopurine and weekly methotrexate with vincristine and dexamethasone pulse for children with acute lymphoblastic leukemia.	Moritake H	小児科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Pediatric Research	Histologic validation of cochlear otosclerosis in cochlear implant patients.	Tono T	耳鼻咽喉科
Progress in neuro- psychopharmacology & biological psychiatry	Effects of yokukansan on behavioral and psychological symptoms of dementia in regular treatment for Alzheimer's disease.	Ishida Y	精神科
Progress in neuro- psychopharmacology & biological psychiatry	Treatment of behavioral and psychological symptoms of Alzheimer-type dementia with yokukansan in clinical practice.	Ishida Y	精神科
Regul Pept	Localization of neuroendocrine regulatory peptide-1 and -2 in human tissues.	Yamaguchi H	第三内科
Reproductive Sciences	Acetylcholine receptor agonist reduces brain damage induced by hypoxia-ischemia in newborn rats.	Sameshima H	産科婦人科
Surgery Today	Rectal Endometriosis Masquerading as Dissemination in a Patients with Rectal Cancer: Report of a Case.	Chijiwa K	第一外科
Surgery Today	Spontaneous left subclavian artery dissection with consecutive thrombosis and embolic occlusion of the lower limbs: Report of a case.	Nakamura K	第二外科
Surgical Laparoscopy, Endoscopy & Percutaneous Techniques	Meckel's Diverticulum Diagnosed by Double-Balloon Enteroscopy and Treated Laparoscopically: Case Report and Review of the Literature.	Chijiwa K	第一外科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	A rare case of amniotic fluid embolism with massive platelet aggregations in pulmonary capillaries.	Sameshima H	産科婦人科

小計9

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Carcinomatous meningitis from adenocarcinoma of the uterine cervix: A case report and literature review.	Yamauchi N	産科婦人科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Changes in heart rate patterns by lipopolysaccharide and intermittent hypoxia-ischemia in 7-day-old rats.	Sameshima H	産科婦人科
The Thoracic and Cardiovascular Surgery	Carcinoembryonic antigen level in serum and pleural lavage fluid in non-small cell lung cancer.	Tomita M	第二外科
Thrombosis Research	Composition of thrombi in late drug-eluting stent thrombosis versus de novo acute myocardial infarction.	Yamashita A	病理部
Thrombosis Research	Inhibition of factor XI reduces thrombus formation in rabbit jugular vein under endothelial denudation and/or blood stasis.	Yamashita A	病理部
World Journal of Surgery	Expression of hepatocyte growth factor activator inhibitor type 1 in human hepatocellular carcinoma and postoperative outcomes.	Kondo K	第一外科

合計105

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 池ノ上 克
管理担当者氏名	総務課長 鳥居 時政

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科	<ul style="list-style-type: none"> カルテは外来、入院別に1患者1ファイル方式のID番号順で分類。 エックス線写真は1患者1ファイル方式のID番号順で分類。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	なし	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
第規 一則 号第 一に 掲条 の る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 び第 九条 の二 十三 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 池ノ上 克
閲覧担当者氏名	総務課長 鳥居 時政
閲覧の求めに応じる場所	ミーティングルーム (管理棟 3階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.9%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			7,984人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			4,527人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,019人
D: 初診の患者の数			12,189人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療に係る安全管理の基本的考え方2. 医療に係る安全管理体制3. 職員研修4. 事故報告等の医療安全確保を目的とした改善方策5. 医療上の事故等発生時の対応6. マニュアルの作成7. 患者等との情報の共有8. 患者からの相談への対応9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年14回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療事故防止のための具体的措置に関する事。2. 医療事故防止対策マニュアルに関する事。3. 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事。4. 医療事故発生時の原因究明、改善策の立案・実施及び職員への周知に関する事。5. 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事。6. 医療事故発生時の家族や患者への対応に関する事。7. インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事。8. 医療安全管理部の業務に関する事。9. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に関する事。10. 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に関する事。11. その他医療事故等及び医療訴訟に関する事。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年41回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理に関する講演会（※ビデオによる講習会含む）（16回）2. 各部署との勉強会（25回）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. リスクマネージャー会での事例報告及び周知2. 作業標準の作成3. 医療事故防止対策マニュアルの作成・見直し4. 院内ラウンド5. 部署毎の医療安全に関する改善目標と改善結果の報告6. 事例検証会、医療安全管理委員会での対策の検討、事例報告等	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（1名）・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (8) 名 ・ 活動の主な内容： 1. 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理委員会 (以下「委員会」という) の運営に関するこ と。 2. インシデント及び医療事故の原因究明状況の確認及び指導に関すること。 3. インシデント及び医療事故に関する診療録、看護記録等への記載内容の確認及び指導に関 すること。 4. インシデント及び医療事故の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導 に関すること。 5. 患者からの医療に係る相談に関すること。 6. インシデント及び医療事故の調査及び分析に関すること。 7. 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。 8. 医療安全のための教育・研修に関すること。 9. 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 10. 委員会での決定事項の実施状況調査及び見直しに関すること。 11. 医療安全のための啓発、勧告、改善命令に関すること。 12. その他医療事故防止及び医療の安全管理に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に対する基本的な考え方2. 委員会等の組織に関する基本的事項3. 職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針報告6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年18回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染の予防に関すること。2. 感染の情報の収集に関すること。3. 感染源の追及等のための検査の実施に関すること。4. 防疫対策の確立に関すること。5. その他感染対策についての重要事項に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年16回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策に関する講演会（※ビデオ録画による講習会含む）（16回）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策担当者会議での報告及び周知2. 院内ラウンド3. 院内感染対策マニュアルの作成、見直し4. ICT会議、感染対策委員会での対策の検討、事例報告等5. サーベイランス6. コンサルテーション	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 4月 新入局員オリエンテーション開催 医薬品安全管理について 7月 医療安全講演会開催 医療安全に寄与するコミュニケーション 12月 看護技術静脈注射研修 静脈注射の薬理について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： (1) 業務手順書に基づいて業務が実施されているかチェック表を用いて確認した。 (2) 医薬品安全管理上注意すべき情報提供を全職員に対して随時行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 業務手順書は、作成後、各部門へ一部ずつ配布した。また、手順書の周知を徹底するために院コンピュータネットワークの「First Class」及び電子カルテの「カムナビ」に掲載し、全職員が閲覧できるようにした。 (2) 業務手順書を現場の実情にあうように改訂した。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	適宜
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 機器の取扱説明、心筋保護法説明</p> <p>(2) 人工呼吸器 機器の取扱説明</p> <p>(3) 血液浄化装置 機器の取扱説明、血漿交換療法、透析技術・トラブルについて</p> <p>(4) 除細動器 機器の取扱説明、機器点検に関して</p> <p>(5) 閉鎖式保育器 機器の取扱説明、機器点検に関して</p> <p>(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応</p> <p>(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（粒子線等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(2) 人工呼吸器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(3) 血液浄化装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(4) 除細動器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(5) 閉鎖式保育器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（粒子線等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の不具合や健康被害等に関する院内外の情報について、医療機器安全管理責任者から必要に応じて病院長並びに医療安全管理委員会へ報告するとともに、院内への周知や対応を行う。</p>	